

氏名	伊藤 知子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	音楽、音楽科教育学				
学位	修士（芸術学）				
学歴	1998年日本大学芸術学部音楽学科、2000年日本大学大学院芸術学研究科修士課程				
経歴	2001年青森中央短期大学講師、2006年育英短期大学講師、2009年埼玉県立大学講師、2018年埼玉県立大学准教授				
所属学会（役職）	全国大学音楽教育学会、日本保育学会、日本音楽教育学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	教員養成における鍵盤指導の課題	単著	SPU音楽表現研究会		伊藤知子○	2024年6月
2	巻頭言	単著	子ども・教職研究		伊藤知子○	2025年3月
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし					
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	幼児と表現（音楽表現）Ⅰ	○	16コマ	科目責任者として、非常勤講師との連携を図り、授業の質の向上に努めた。本年度は学内での練習を少しずつ許可しながら、主に自宅練習できる準備として、学生に鍵盤楽器が行き渡るよう手配するなど行った。個別の指導に力を入れ、学生個人の能力等に合わせた指導を行った。		
2	幼児と表現（音楽表現）Ⅱ	○	16コマ	科目責任者として、非常勤講師との連携を図り、授業の質の向上に努めた。本年度は学内での練習を少しずつ許可しながら、主に自宅練習できる準備として、学生に鍵盤楽器が行き渡るよう手配するなど行った。個別の指導に力を入れ、学生個人の能力等に合わせた指導を行った。		
3	保育内容「表現」の指導法Ⅱ	○	15コマ	2年次生を対象に、領域「表現」を踏まえ、子どもが劇遊びを楽しむことを想定し、劇遊びを体感し、子ども向けの劇を作成・実演する指導をおこなった。また、学生が将来保育者として、1つのものを子どもと職員とともに作り上げることも想定し、振り返り用紙等の活用で学生間での進捗状況等を把握し、葛藤等に介入した。		

4	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅰ	○	15コマ	保育現場で必要となる音楽的表現活動の指導法を指導した。特に、指導案の作成指導、および模擬保育によるアクティブラーニングに力を入れた。
5	保育内容「音楽表現」の指導法Ⅱ	○	15コマ	保育現場で必要となる音楽的表現活動の指導法を指導した。学生たちに模擬保育を実施してもらうITの取り入れ方の指導などを行った。特に、現場で求められる音楽知識の再確認に力を入れた。
6	芸術活動（音楽）	○	15コマ	ICTを積極的に取り入れ学生が音楽の楽しみ方を実践的に体感することに力を入れた。
7	芸術活動（音楽）	○	15コマ	ICTを積極的に取り入れ学生が音楽の楽しみ方を実践的に体感することに力を入れた。
8	保育実習事前事後指導ⅠA		13コマ	科目責任者の補佐として全体のコーディネート他、3年次生を対象に、保育所における保育について学びを深めると共に、実習で必要になる保育技術の指導を行った。
9	保育実習事前事後指導ⅠB		4コマ	3年次生を対象に、保育士取得における施設に関する保育について学びを深めるとともに、実習で必要になる保育技術の指導を行った。
10	保育実習事前事後指導Ⅱ		14コマ	科目責任者の補佐として全体のコーディネート他、4年次生を対象に行われる保育所における保育についてさらに学びを深めるとともに、実習に必要な保育技術の指導を行った。
11	保育実習事前事後指導Ⅲ		4コマ	4年次生を対象に、保育士取得における施設に関する保育について学びをさらに深めるとともに、実習で必要になる保育技術の指導を行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	保育実習ⅠA		10日	科目責任者の補佐として3年次生を対象に、保育所における実習の訪問指導を行った。
2	保育実習ⅠB		10日	3年次生を対象に、保育士取得における施設における実習に関する授業を行なった。
3	保育実習Ⅱ	○	10日	4年次生を対象に行われる保育所における実習指導を行った。 科目責任者として実習依頼等諸手続きと行き、学生指導を行った。 保育所の実習の訪問指導を行った
4	保育実習Ⅲ		10日	4年次生を対象に、保育士取得における施設における実習の、訪問指導を行った。
5	教育実習（幼）Ⅰ		5日、3コマ	2年次生を対象に、幼稚園における教育について学びを深めるとともに実習で必要となる指導法を指導した。また、訪問指導を行なった。
6	教育実習（幼）Ⅱ		15日、3コマ	4年次生を対象に、幼稚園における教育についてさらに学びを深めるとともに実習で必要となる指導法を指導した。また訪問指導を行なった。
7	IPW実習		4日、6コマ	オンラインによる遠隔授業で科目担当者として学生の主体的な学びになるよう、施設ファシリテータと協力しながら指導した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2024年度	主指導	3名	副指導 3名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	子ども・教職研究の編集委員	2024年度	

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	砧っ子サマースクール2024	世田谷区立砧小学校	トーンチャイムで合奏しよう♪
2	子ども大学こしがや・まつぶし	越谷市教育委員会	心を通わずコミュニケーション
3	子ども劇場	埼玉県立大学	ぼくらは名探偵
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	一般社団法人 日本クラシック音楽協会	審査員	2019年度～
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会 共同実験室管理部会	2024年度
2	全学的委員会及びセンター業務等	ダイバーシティ推進委員会相談員（子育て）	2024年度
3	全学的委員会及びセンター業務等	教職関連科目担当者会	2024年度
4	学科等における委員会等	保育士審査委員会	2024年度
5	学科等における委員会等	カリキュラム検討WG	2024年度
6	大学広報活動	オープンキャンパス	2024年度
7	学生支援	1年学年担当	2024年度
8	学生支援	サークル「アカペラサークルJOY」顧問	2024年度
9	学生支援	サークル「アンサンブルサークルdolce」顧問	2024年度
10	学生支援	サークル「étoile」顧問	2024年度
11	学生支援	サークル「弾き語りサークルC7」顧問	2024年度
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		